

都市公園の利用者による公園評価等に関する研究

—北習志野近隣公園の場合—

○小川 貫, 齊藤虎征, 阿部信博, 岩田 惇, 朝倉徳雄, 澤村 博

(日本大学理工学部体育研究室)

(日本大学文理学部)

静的スペース 動的スペース 緑

1 調査・研究の目的

今日、余暇社会と言われるほど生活が豊かになり、休日も増えてレクリエーション活動が実施し易い状況にあると言え、また喧騒な都市生活、複雑な社会機構のなかでのレクリエーション活動の価値が訴えられていることは周知のことである。しかし、高層住宅を推進する都市計画や宅地開発、規制のある校庭開放、商業主義による民間施設など都市における自由な活動スペースには限りあるのが現状である。こうした環境のなかで、自然のある静的スペースやスポーツ・レクリエーション活動にも対応できる動的スペースを公園に求める住民の期待は大なるものと思われる。

公園施設の充実については、建築、土木、造園等の様々な分野から幾多の先行研究によって示唆されるところである。「スポーツ人口の増加に対する施設の増加のアンバランス、今後のスポーツ人口の動向予測からみたスポーツ・娯楽施設の整備の一層の促進、そしてそれらは競技施設は勿論、都市公園整備の拡大」(日本公園緑地協会「公園緑地」VOL. 43 No.3 1982)に負うところは大きいと考える。

本研究は近隣住区における公園施設の内容を分析し、その利用状況及び評価について調査を試み、公園の性格や利用者の期待等を把握することによって主にスポーツ・レクリエーションの見地から公園施設のあり方に対する具体的提案の基礎資料を得ようとするものである。

2 公園の概況

名称 北習志野近隣公園

所在地 千葉県船橋市習志野台町(図-4)

交通 新京成電鉄「北習志野」駅より徒歩7分、バス停より3分。

面積 約23,546㎡

施設の配置と内容

配置 図-1に示す。

ベンチ 全てコンクリート製で長方形の物が主に噴水広場・花壇の周囲に集中して計35個、円筒形の物が林の中に7個円形テーブルに附設され全て移動不可(図-2)。

テーブル あずまやに木製で正方形の物が1脚、林のなかにコンクリート製で円形の物が1台設置。

ごみかご 図-1に示した通り14箇設置(図-2)。

便所 外壁白色モルタル、内壁淡いピンク色タイル張り、大小各3、車椅子用1、手洗い2箇所(図-3)。

水飲み場 一箇所。

噴水 周囲40m植木によって囲いされ、午前9時30分から午後4時30分まで動いている。

遊具 鉄棒高さ80cm1本、120cm1本。ぶらんこ2機。すべり台が2機とコンクリート製大型(5×15m)が設置され、大型すべり台には登坂用鎖が2本ついている。コンクリート製円筒(100×75cm)2本。砂場(3×20m)。

芝生 約12㎡。

花壇 円形直径7m、年に3回程度季節の花を植えかえる。第1回調査時にはすみれが咲いていた。

主な樹木の種類と概数 マツ400、イチョウ30、ニセアカシア30、ニッコウヒバ50、カラマツ20、ケヤキ15、ユリの木10各本。モミジ、クリ、ソテツ、スギ各数本。花の咲く樹木としては

サクラ200、ツバキ100、シダレザクラ25各本。他にコブシ、モクレン、クチナシ、モクセイ、ツツジ、野バラ、雑木等。

池 噴水と日本庭園に計2箇所。庭園内は菖蒲の咲く時季のみ水が溢えられている。

これらの管理には常時1~2名があたっている。

3 調査の方法

調査日時 昭和60年6月23日と7月14日(午前9時30分~午後3時30分)。

観察調査 7箇所の出入口からの入園者を記録し行動を観察した。

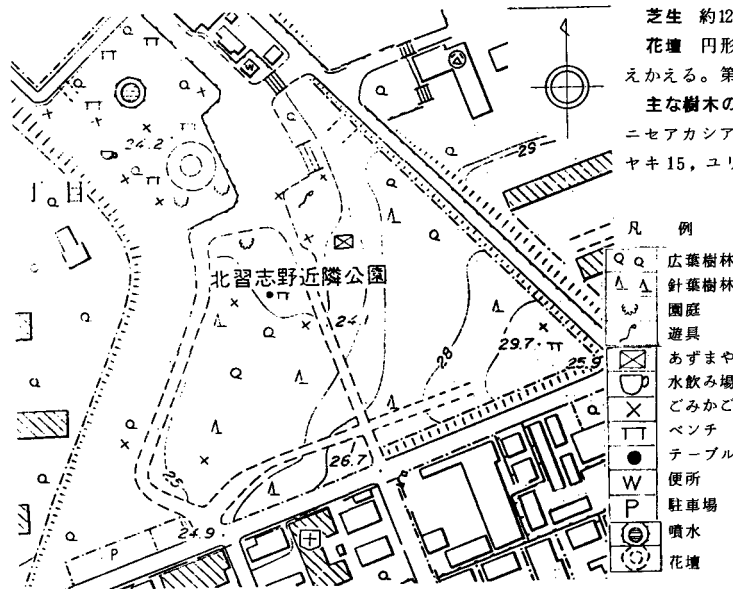


図-1 施設の配置

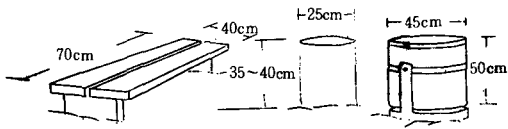


図-2 ベンチとごみかご

質問紙による調査 10才
以上の入園者を無作為に
131名選びアンケートを
行なった。

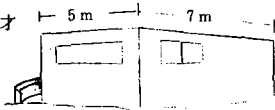


図-3 便所

13. 公園内の芝生のスペース
14. 公園内の芝生の状態
15. 公園内の遊具の種類
16. 公園内の遊具の数
17. 公園内の遊具の配列 (間隔)
18. 公園内のベンチの数
19. 公園内のベンチのデザイン
20. 公園内のベンチのサイズ
21. ゴミ箱の数
22. ゴミ箱の配列
23. ゴミ箱のデザイン
24. ゴミ箱の中のゴミの処理状態
25. トイレの数
26. トイレの清潔さ
27. トイレの建物の大きさ
28. トイレの建物の配色
29. トイレの建物のデザイン
30. 公園内の池の数
31. 公園内の池の大きさ
32. 公園内の噴水の数
33. 公園内の噴水の作動状態
34. 池、及び噴水の回りのベンチの配列
35. 公園内の遊路の数
36. 公園内の遊路の中
37. 公園内の遊路の場所
38. 公園の出入口の数
39. 公園の出入口の場所
40. 公園内の水飲み場の数
41. 公園内の水飲み場の配置
42. 公園内全体の配置

※不十分な方は前項になければ具体的に

4 結果と考察

表-2は観察による入園者の利用場所を表わしたもので

表-1 アンケートの内容

- A) 次の設問で該当する項目に記入または○印をつけて下さい。
- 1) 性別 a. 男 b. 女
 - 2) 年齢 (才)
 - 3) あなたの職業は次のどれに該当しますか。
a. 会社員 b. 公務員 c. 教員 d. 農業
e. 漁業 f. 林業 g. 酪農 h. 自営業
i. 小売業 j. 主婦 k. 中学生 l. 高校生
m. 大学生 n. 無職 o. その他 ()
 - 4) あなたの住居はどこですか。
a. 町内 b. その他 ()
 - 5) あなたはどのような交通手段によってここへ来ましたか。
a. 徒歩 b. 自転車 c. バイク d. 車 (マイカー)
e. 路線バス f. 電車 g. その他 ()
 - 6) あなたの住居から公園までの徒歩での所要時間は次のどれに該当しますか。
a. 1~10分 b. 11~20分 c. 21~30分
d. 31~45分 e. 46~60分 f. 61分以上
 - 7) 今日この公園に誰と来ましたか。a. は続柄を記入して下さい。
a. 家族 () b. 学校の先生 c. 職場の同僚
d. 友達 e. 近所の主婦 f. 恋人 g. 1人で
h. その他 ()
 - 8) あなたはこの公園を過去一か月間に利用したことがありますか。
a. 今回が初めて b. 利用したことがある (約 回)
 - 9) あなたはなぜこの公園に来ましたか。
(該当する項目があればいくつでも○印をつけて下さい。)
a. 住居から近い b. 広くて安全 c. 雰囲気が良い
d. 自然 (緑) が多い e. ただ何となく f. 近道
g. 紹介された h. 誘われた i. 散歩
j. 健康運動 k. 息抜き l. ペットの運動
m. その他 ()
 - 10) 今、この公園をみて利用者は多いですか。
a. 混雑している b. ちょうど良い c. 少ない
 - 11) あなたは現在公園にどんなイメージを持っていますか、簡単に。
 - 12) あなたは公園にどんな期待をしますか、簡単に。
 - 13) あなたは今回どんなレクリエーション活動をしましたか。
(いくつでも○印をつけて下さい。)
かくれんぼ おにごっこ かけっこ 馬とび 体操 踊り、ダンス
水あそび 石けり カンけり 縄とび ゴムとび
フリスビー キャッチボール ジョギング ローラースケート
バドミントン ドッチボール
野球 サッカー バレーボール バスケケットボール テニス
虫取り 植物採集 (花、落ち葉) 植物の鑑賞 自然観察
ピクニック 花見 談話 散歩 子供のおもり
ぬいつけ遊具を子供に使わせる
紙ひこうき 模型飛行機 ラジコン・カー 工作 編み物 歌の練習
演劇 絵画 写真 ラジオをきく 音楽をきく 勉強会 集会
その他
- B) 次の設問には下記の要領で答え下さい。
「十分である」「どちらともいえない」「不十分である」のスケールで該当する
番号を○印で囲んで下さい。わからない項目については答える必要はありません。
例. 水飲み場 1 2 ③
1. 公園のスペース
 2. 公園の清潔さ
 3. 公園内の樹木の種類
 4. 公園並の樹木の数
 5. 公園内の樹木の配列
 6. 公園内の花の種類
 7. 公園内の花の数
 8. 公園内の花の配列
 9. 公園内の虫の種類
 10. 公園内の虫の数
 11. 公園内の鳥の種類
 12. 公園内の鳥の数

表-2 入園者と主な利用場所 数字:人数

		広場		噴水・花壇		遊具場		性別別計		年代別計	
		男	女	男	女	男	女	男	女		
午	幼児	14	12	19	19	9	9	42	40	82	
	小学生	96	24	34	19	-	3	130	46	176	
	中学生	5	5	-	2	-	-	5	7	12	
	高校生	3	-	-	-	-	-	3	0	3	
	青年	12	5	2	2	-	-	14	7	21	
	中年(主婦)	128	25	34	22	6	6	168	53	221	
前	老年(主婦)	14	17	8	2	-	-	22	19	41	
	計	272	88	97	66	15	18	384	172	556	
	午	幼児	12	16	18	15	6	8	36	39	75
		小学生	82	49	12	11	1	-	95	60	155
		中学生	9	28	-	6	-	-	9	34	43
		高校生	10	1	2	2	-	-	12	3	15
青年		28	14	6	4	-	-	34	18	52	
中年(主婦)		60	34	23	23	1	5	84	62	146	
後	老年(主婦)	13	1	8	5	-	-	21	6	27	
	計	214	143	69	66	8	13	291	222	513	
合計		486	231	166	132	23	31	675	394	1,069	

あり、広場(コンクリート広場と林の中)、噴水・花壇(噴水と花壇の周囲)、遊具場等を主として利用している人々の概数である。これらの人々のほかに通り抜ける人や他の場所(あずまやなど)で憩う人々もあるので表-2に示した人数は入園者の総数ではない。また年令的な判別は観察者の主観によるものである。この表から午前中の利用者が午後よりも多いことがわかるが、これは6月23日には昼過ぎより商店街で祭りがあったこと、7月14日には午後2時に光化学スモッグ注意報が出されたことなどが要因として考えられる。年代的にみると小学生と中年(主婦)の利用者が非常に多く、そしてその年代の男性がより多いことがわかる。とくに中年男性の利用者が多いのは日曜日の特徴と考えられ、主婦と比べて利用者の増減が午前と午後で逆比例しているのは家事の都合によるものと思われる。中学生から青年にかけての若い令層では午後が増加する傾向にあるが、これは起床時間との関係が考えられる。老人層では利用者が多いとは言えないまでも季節柄早朝に利用していることも予測され、コンスタントな利用がなされているものと考えられる。利用場所については広場の利用者が圧倒的に多く、他の場所よりも男性の利用割合が高い。これは動的な利用者が多いことを意味し、男性においてより動的に利用されている

るものと予測される。

表-3 来園者の行動

種 目	件数	種 目	件数
自 転 車	63	虫 取 り	8
キョッチボール・野球	13	水 遊 び	4
ジョギング	9	花 火	3
テニス	6	ラジコンカー	2
ローラースケート	4	写真撮影 読書	各2
サッカー バドミントン なわとび	各3	散歩(含休息・憩)	127
各種ボール遊び	6	犬の散歩	4
すべり台	8	ゴ ル フ	7
ぶらんこ	5	通 り 抜 け	222
砂あそび	3	便 所	2
ボイスカウト	2		
子供会 野球チームの集合	各1		
ピクニック	4		

表-3は観察による来園者の行動を示した概数であるが件数で示してあるために種目別人数の把握は不可能である(例えば親子連れで犬の散歩をしている場合や少年3人のグループが自転車で来園して乗り回している場合などは1件とかぞえた為)。この表では散歩(含休息・憩)や読書などの静的な利用と動的使用がほぼ同じ件数を示しているが表-2に示した通り、広場の利用者が多いこと、後述することであるが父子連れが多いことから動的使用人数がかなり多いと思われる。ぶらんこなどの遊具の利用件数が案外少ないのが目につくが、当日、砂場の砂が硬く、素手では掘りおこせない状態であったことや既設の遊具に物足りなさを感じていることなどが要因として考えられる。また、当公園を通行に利用している人が非常に多いことが伺える

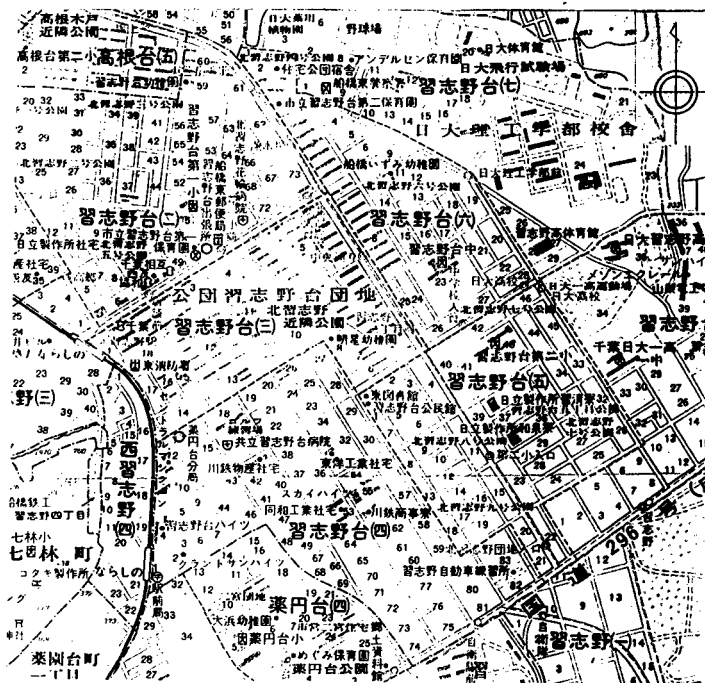


図 - 4

が、周囲には戸建住宅、集合住宅、商店街、「北習志野」駅、中・高・大・中学校などがある(図-4)公園が通行の機能をはたしているものと思われる。

なお、正面入口にはゴルフ、犬の散歩を禁ずる注意表示がある。

表-4 アンケート対象来園者の性別と年齢 上段:人数 下段:%

性別	10~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~	計
男	19 (26)	14 (19)	30 (41)	3 (4)	3 (4)	5 (7)	74 (58)
女	20 (37)	15 (28)	13 (24)	2 (4)	0 (0)	4 (7)	54 (42)
計	39 (30)	29 (23)	43 (34)	5 (4)	3 (2)	9 (7)	128 (100)

女性3名年齢無記入

表-5 職 業 上段:人数 下段:%

性別	職業	社員	公務員	自営業	主婦	小学生	中学生	高校生	大学生	無職	その他	計
男	39 (53)	6 (8)	2 (3)	3 (4)	0 (0)	4 (5)	9 (12)	1 (1)	3 (4)	4 (5)	3 (4)	74 (58)
女	4 (7)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	22 (41)	2 (4)	10 (19)	1 (2)	6 (11)	5 (9)	3 (6)	54 (42)
計	43 (34)	6 (5)	3 (2)	3 (2)	22 (17)	6 (5)	19 (15)	2 (1)	9 (7)	9 (7)	6 (5)	128 (100)

次に、アンケート対象者の性別と年齢をみると(表-4)男女の割合が観察による来園者のそれに近く、年齢別でも10代は勿論であるが、幼児から小学生低学年の子供を連れてきた年齢層の父母が多く、しかも老人もある程度含まれており、無作為にアンケート対象者を選んだ結果、表-2に示した来園者の年代と同傾向にあることがわかる。また、10代の対象者がかなり多くなっているが、その多くは中学生以下である。

表-5に示した来園者の職業別内訳では中学生を除いて男子では会社員や公務員などの勤め人、女子では主婦が多くなっている。これも前述の年代と同様に自からの散歩や憩と同時に子供を対象とした来園でもあるものと思われる。しかし、平日ではこの年齢層の男子来園者は大きく減少することが予想される。なお無職者は老人であり、この年齢層の平日における利用割合は増加することになる。

次に来園者の80%は徒歩時間にして20分以内の町内に住居を持ち、それらの人々は徒歩や自転車で来園していることが表-6からわかる。当公園所在の北習志野地区は公団の手による(公園を含む)新興の住区であり、外郭には高校や大学もある文教の町でもある(図-4)。公園には恵まれており、北習志野1号~10号公園、習志野5丁目公園等を保有しており、これらの公園は若干の広場と樹木や遊具を備え、北習志野近隣公園の5

表-6 住居の場所及び交通手段と徒歩時間 上段:人数 下段:%

	住居		交通手段					徒歩時間					
	町内	その他	徒歩	自転車	自家用車	電車	バス	バイク	1~10分	11~20	21~30	31~45	61~
男	62 (84)	12 (16)	42 (55)	22 (29)	11 (14)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	47 (63)	15 (20)	7 (9)	0 (0)	6 (8)
女	41 (72)	16 (28)	38 (62)	16 (26)	3 (5)	3 (5)	1 (2)	0 (0)	31 (55)	9 (16)	8 (14)	2 (4)	6 (11)
計	103 (79)	28 (21)	80 (58)	38 (28)	14 (10)	3 (2)	2 (1)	1 (1)	78 (60)	24 (18)	15 (11)	2 (2)	12 (9)

分の1程度以下の規模である。さらにこれらの公園は北習志野近隣公園より徒歩で5~20分程度の場所に所在し、30分も要すれば、高根木戸近隣公園や薬園台公園も利用できる。今回はこれら周囲に備えられた公園に関しては未調査であるが、本調査では「住居が近い」ということが来園の大きな条件となっていることが図-5からもうかがえる。この図では散歩や健康運動(ジョギング、なわとび、体操)

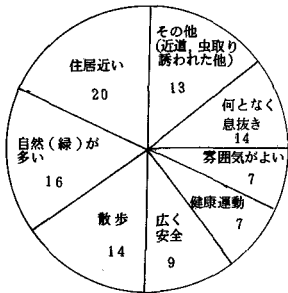


図-5 来園の理由(%)

の為、あるいは強調する理由など無いが、何となくや息抜きにとった人々が多くみられ、それらの人々には自然(緑)が多く雰囲気が良いことが必要であり、近い処にそうした場所があることが来園の大きな条件になっているものと思われる。

広く安全という項目は親の子供に対する遊び場としての想いを意味するもの

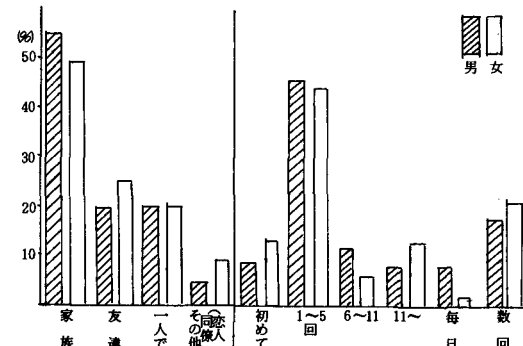


図-6 同伴者の利用回数

図-6は一諸に来園した人と来園回数を表わしている。これからも両親と子供、父と子、母と子、祖父母と孫、夫婦といった家族連れが多いことがわかる。友達と来園したなかには高校生以下の未成年が多く、また1人で来園する人も目立っている。過去1ヶ月の利用者については何度か利用している人が非常に多く地域住民に定着した公園と云える。

また、梅雨時にもかかわらず毎日来園している人もあり、それは高齢者に多くみられた。1~5回来園している人が最も多いが、これは日曜日に利用しているものと考えられる。数回来園の項目は「幾度か来園したことがある」と答えながらも回数を記入しなかった人々である。

表-7 レクリエーション活動の種類 数字:件数

種目	男	女	種目	男	女
散歩	23	24	ジョギング、体操	12	2
自然観察、植物の鑑賞、採集	19	16	かけっこ、おにごっこ	9	9
花見、写真	7	3	かくれんぼ	13	7
虫とり	7	3	テニス、バドミントン	13	7
音楽、ラジオを聞く、読書	5	8	野球、キャッチボール	5	4
談話	2	8	サッカー、ドッチボール	4	1
編み物、行楽休息	—	2	自転車、ローラースケート	5	2
工作、ラジコンカー	2	—	縄とび、水遊び	6	2
子供のおもり	16	15	縄けり、遊び	6	2
ボーイスカウト、集会、ピクニック	7	3	遊具を子供に使わせる	6	7

表-7は来園して何をやったか(やるか)との質問に対して選んだ項目を列挙したものである。静的レクリエーション活動と動的活動が同程度みられ、公園には静的スペースと動的スペースが必要であることをここでも示唆している。また、直接的に自然、植物を対象に挙げている人も少なくないことから緑や花は欠くことのできない条件と言える。さらに、子供のおもりや遊具を使わせると答えた人も多く、子供が安心して遊べるスペースも必要であり、前述した通り、アンケート対象者に入らなかった子供達の多くは動的活動をしているものと推測される。

表-8 公園に対するイメージと期待 数字:件数

公園のイメージ	男	女	公園に対する期待	男	女
緑、自然、花	24	18	緑、自然(小鳥、虫、森)花	20	10
雰囲気・景色が良い、静か	17	14	雰囲気・環境が良い、安らぎ	8	8
安心、落ち着き	—	—	休息できる、静か	—	—
広場、広さ	5	7	広場、広さ	6	5
明るい、清潔、きれいな、空気が良い	2	1	明るく、清潔、きれいに	5	4
遊び、運動	3	9	レク活動、運動ができる	15	7
涼しい、郊外的	4	2	遊具を使える、遊べる	—	—
子供の教育	1	—	安全	7	2
邪魔されない	1	—	芝生、ベンチ、小川、池	3	4
子供中心で有料	1	—	散歩道、日陰	2	2
			公園を多く、皆が利用できる	2	—

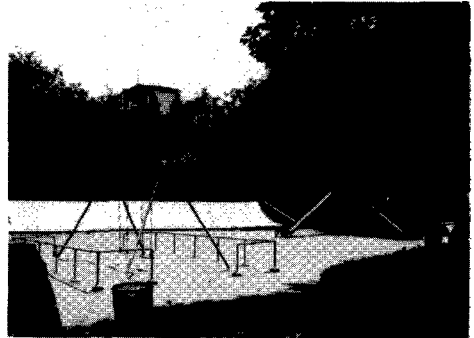
表-8は公園に対するイメージや期待を表わしたものであるが、共通していることは雰囲気や景色が良くて明るくきれいなこと。そしてそうした状況を作る要素は森や小鳥、花などの自然性であると言える。一方では運動ができる、遊べるといった広場を求めていることもうかがえる。また、わずかではあるが、子供中心で有料、皆が利用できる、といったことも見逃せないと考える。本調査で意外であったことは、水に対するイメージや期待が意外に少なかったことである。このことは今後の調査継続によって結果

を待ちたい。

表-9 アンケート対象者の満足度

数字：%

項目	男			女		
	不十分	どちらとも	十分	不十分	どちらとも	十分
1. 公園のスペース	16	27	57	15	15	70
2. 公園の清潔さ	15	33	52	9	57	34
3. 公園内の樹木の種類	9	33	58	2	31	67
4. 公園内の樹木の数	9	36	55	2	22	76
5. 公園内の樹木の配列	15	56	29	7	44	49
6. 公園内の花の種類	46	39	15	39	30	31
7. 公園内の花の数	43	44	13	41	34	25
8. 公園内の花の配列	31	53	16	17	54	29
9. 公園内の虫の種類	32	45	23	25	56	19
10. 公園内の虫の数	41	37	22	22	56	22
11. 公園内の鳥の種類	33	49	18	33	39	28
12. 公園内の鳥の数	33	48	19	36	40	24
13. 公園内の芝生のスペース	53	36	11	61	25	14
14. 公園内の芝生の状態	46	35	19	33	50	17
15. 公園内の遊具の種類	47	36	17	49	36	15
16. 公園内の遊具の数	43	38	19	51	28	21
17. 公園内の遊具の配列(間隔)	32	49	19	31	47	22
18. 公園内のベンチの数	39	31	30	40	33	27
19. 公園内のベンチのデザイン	43	42	15	36	47	17
20. 公園内のベンチのサイズ	23	54	23	19	45	36
21. ゴミ箱の数	32	46	22	35	37	28
22. ゴミ箱の配列	24	63	13	19	53	28
23. ゴミ箱のデザイン	34	54	12	33	43	24
24. ゴミ箱の中のゴミの処理状態	19	56	25	37	29	34
25. トイレの数	32	41	27	53	33	14
26. トイレの清潔さ	19	55	26	40	48	12
27. トイレの建物の大きさ	10	53	37	14	51	35
28. トイレの建物の配色	8	61	31	8	60	32
29. トイレの建物のデザイン	25	57	18	15	50	35
30. 公園内の池の数	47	38	15	42	30	28
31. 公園内の池の大きさ	38	45	17	34	36	30
32. 公園内の噴水の数	29	40	31	20	41	39
33. 公園内の噴水の作動状態	19	46	35	14	39	47
34. 池、及び噴水の回りのベンチの配列	16	42	42	10	38	52
35. 公園内の園路の数	14	36	50	8	36	56
36. 公園内の園路の巾	12	36	52	4	35	61
37. 公園内の通路の場所	11	45	44	2	35	63
38. 公園の出入口の数	13	30	57	4	30	66
39. 公園の出入口の場所	19	32	49	9	35	56
40. 公園内の水飲み場の数	52	32	16	57	22	21
41. 公園内の水飲み場の配置	48	36	16	43	35	22
42. 公園内全体の配置	9	53	38	2	55	43



遊具場



段差のあるコンクリート広場

項目について考えると、公園のスペースについては満足度がかなり高いことが図-5からもうかがえる。自然については樹木の種類や数では不十分と考える人は少なく、緑という点では満たされていると言える。しかし、花、鳥、虫については不十分と答えている人の方がやや多く、この点については満足度は低いと言える。花の種類や数については改良できると思われるが虫や鳥については推測にすぎないが、住区のなかに孤立されたこの程度の自然に虫や鳥が十分と思えるほど住みつくことは難しいものと思われる。子供の遊び場として考えてみると、今回の調査では若年の子供についてはアンケート対象外とした為に、十分な資料が得られず今後の課題としたい。しかし前述のように観察調査においては動的プレイが多くみられたことから、活発に運動できる自由広場に対する要求が出るものと予測される。遊具の種類や数が不十分と答えている人が多くみられるが、観察調査においては(表-2)遊具場を利用する人があまり多くなかったことから矛盾するようにも思える。これは既設の遊具は平凡であり子供が変化に富んだ遊びが十分できないことも推測される。次に、当公園が通行の機能をはたしていることは前述した通りだが出入口や園路についての満足度が高いことからもうなずける。これらの他にベンチのデザイン、女子についてのトイレの数、池の大きさと数、水飲み場の数、ごみかごのデザインなどについて

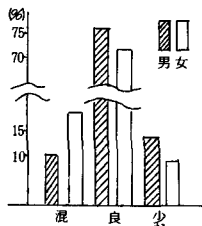
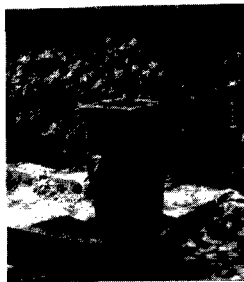


図-7 利用者の数



水飲み場

表-9はアンケート対象者の北習志野近隣公園に対する満足度を示すものである。これまで述べてきた自然(緑)、広場、子供が安全に遊べるなどが公園としての重要な条件となるわけで、これらに関連する



園路と針葉樹林

ては一考を要すると考える。公園全体の配置では不十分と答えた人が非常に少なく、アンケート対象者である年齢層には満足度が高い公園と言える。

表-10 記入不十分なこと

記入したこと	件数
このままでよい	21
花を多く	7
出入口の工夫、噴水の工夫、小川・池欲しい	各3
ベンチの工夫、大の散歩やめて、屋根多く店や自販機の設置	各2
子供の喜ぶお虫の来る木、駐車場テニスの壁打ち、遊具を多く、水道多く	各1
芝生をふやして、ごみかごの工夫人数をふやさないで、デザイン悪い通路を広く少なく、きれいに自転車乗り回しやボール遊びができるよう	
子供が安心して遊べるように雑草が多い、桜の木の保護幼稚園の教場としての使用やめて自然保護のため消毒を極力やめて公園を多くして	

アンケートの最後に不十分な事柄の記入を求めたところ表-13のような結果を得た。このまゝで良いと記入した人が多かったことから前述のように当公園に対して肯定的であることが十分わかる。しかし、段差のあるコンクリート広場、階段のある入口、入口の狭さなどが乳母車や車椅子での利用者に対して不便を来していることが考えられる。

以上の調査結果から、公園としての大きな条件

には散歩や休息のできる静的スペースと動的プレイのできるスペースが要求されると思われるが何よりも樹木を中心とした緑がその基調となるものとする。環境庁の調査によれば「校内暴力は緑地の少ない都市周辺に発生率が高い」(毎日新聞 9.11夕 1983)として地域環境指標作りに着手し、東京農大造園地被・植栽学研究室のグループは、緑が多いほど疲労の回復度が早く注意力や集中力が高い(朝日新聞 9.19 1982)という実験結果を得ている。平和的な安らぎを覚える空間、健康運動に適した場所、鳥や虫などの自然、子供の動的プレイなどは樹木や芝生などの緑から必然的に派生するものとする。

5 まとめ

1) 北習志野近隣公園における日曜日2日間(午前9:30~午後3:30)の調査では利用者のうち、広場、噴水、花壇の周囲、遊具などを利用した人々の概数は1,069名で男性と女性の比は6対4であった。年齢層では中学生以下の若

年層と子供連れの中年男子及び主婦層が多く、老人の利用も目立った。また当公園は通行の機能もはたしている。

2) 公園に対するイメージや期待、来園の理由などで共通することは、広いスペースに広場や雰囲気の良い自然(緑)があり、そこでプレイや散歩を楽しみ憩うことであった。

3) 公園でのレクリエーション活動の主なものには散歩や休息、ラジオや音楽を聞く、植物などの自然観察といった静的なもの、健康運動(体操、ジョギング)や若年層を中心とした自転車の乗り回し、各種のボール遊び、遊具の利用などの動的なものが多くみられた。

4) アンケート対象者の満足度はかなり高いものであり、広さや樹林が大きな要因と考えられる。また徒歩や自転車で日頃簡単に来園できる近所の人々が対象者として多かったことも肯定的な結果を生んだものと考えられる。

5) 改良すべき主なこととして考えられるのは、子供を対象としての遊具の工夫・増設。自転車を乗り回せたりボール遊びや水遊びができるスペースを確保すること(この自由広場の整備が最も大きな課題と考える)、さらに花や芝生の増植、水飲み場や便所の増設、出入口やベンチの工夫改善などがあげられる。

最後に、当公園の広さを野球場に利用したことを考えるならば2面がやっとのスペースであることを指摘しておきたい。当公園には野球場とテニスコートが併設されているがその利用者数や年齢層を考えた場合、自由広場としての公園の比ではなく、その数、年齢層共に少ないものと予測される。しかも利用者の多くは混雑度でちょうど良いと答え、満足度が高い。こゝに近隣公園としての存在価値をみることが出来る。さらに来園者の多くは徒歩や自転車で短時間で気軽に来園していることから各地域により多くの公園が設置されることが望ましいのは当然である。アンケートにあたり、対象者が協力的であり関心度が高かったことを付け加えておきたい。

〔参考資料〕

アルパート J. ラットン著 白井彦衛訳

公園の解剖

ペンホイッカー、ケネスブラウン 都市問題研究会訳

人間のための公園

田畑貞寿、興水 肇、井手久登、田代順孝 編著

緑と居住環境

社団法人 日本公園緑地協会

公園緑地 (VOL 43 No.3 1982, VOL 44 No.3 1983,

VOL 44 No.5 1984, VOL 45 No.5 1984,

VOL 45 No.6 1985)

日本建築学会論文報告集

(第287号 1980, 第303号 1981,

第306号 1981, 第311号 1982)